

# 大歳交流センターだより



No.75 平成27年 6月号

発行 大歳地域交流センター

TEL 922-4035 FAX 922-4036

(行政窓口) TEL 922-2461

人数 13,282 世帯数 6,117 平成27年5月1日現在

## 「おおとしホタル鑑賞の夕べ」参加者募集！！

最近、家の近くでは見かける事が少なくなってきた“ホタル”を地域のおすすめスポットで鑑賞してみませんか！？

開催日時：6月6日（土）19:00～21:30（予定）

（雨天の場合は、中止とします。）

集合時間・場所：19:00～19:30の間に、大歳地域交流センター講堂へ集合

参加条件：大歳地域の親子（子どもだけの参加はできません。）

参加料：無料

申し込み：6月1日（月）までに、大歳自治振興会（TEL920-1700）へ

募集人数：100名（参加多数の場合は、抽選により参加決定する場合があります。）

携行品など：懐中電灯、歩きやすい服装

その他：

- ・夕食は、各自で済ませてからご参加ください。
- ・鑑賞スポットまでは、各自で移動をお願いします。（付近に駐車場を確保しています。駐車場から、さらに徒歩で10分程度での移動をお願いします。）
- ・現地まで係員が誘導しますが、安全については、各自でも十分気を付けてご参加ください。



## 「おおとし花いっぱい運動」花づくり講習会参加者募集！！

大歳自治振興会では「おおとし花いっぱい運動」の取り組みの一環として花づくり講習会を行います。今年はJ3のチャレンジャーでありながら、首位を走るレノファ山口のホームタウン（地域）という意味も込めて、チームカラーである「オレンジ」をテーマにした花づくり講習会を行います。皆さんも一緒に「オレンジ」を意識したまちづくりに参加してみませんか？

マリーゴールド、アフリカーナ、ジニア・プロフェュージョン、アメリカンブルー等、様々な夏の花をご用意します。

日時：6月26日（金）15:00～

場所：大歳地域交流センター

参加費：無料

募集人数：先着100人（1人1プランター提供します。）

申込み期限：6月19日（金）

講師：（有）岡部園芸

申込み・問い合わせ：大歳自治振興会（TEL920-1700）



# ブックスタート体験会の開催について

山口市では、絵本に関心を持ち始める時期の乳児とその保護者を対象に、絵本を無料で贈呈し、絵本を通して親子の絆を強めることができる「ブックスタート体験会」を開催しています。ぜひご参加ください。

日時：6月12日（金）

10時～12時、14時～16時

場所：大歳地域交流センター 2階 和室

対象：平成26年10月1日から平成26年12月31日

の間に生まれた乳児とその保護者

※受付は随時行います。所要時間は15分程度です。

対象者にはハガキでご案内いたします。

問い合わせ：山口市立中央図書館（TEL 901-1040）



## 第38回大歳地区分館対抗 バレーボール大会開催！

第38回大歳地区分館対抗バレーボール大会を維新百年記念公園スポーツ文化センターで開催します。地区内の親睦を深めつつ、ボールを追って気持ちの良い汗を流しましょう。一生懸命プレーする姿にご声援をお願いいたします

日時：6月7日（日）8：30～

場所：維新百年記念公園

スポーツ文化センターアリーナ

主催：大歳体育振興会

問い合わせ：大歳体育振興会事務局

（TEL 922-4035）



## はつらつクラブ 大人の居場所

日時：6月20日（土）13：30～15：30

内容：☆みんなで楽しく「ガンバルーン体操」  
ボールを使って楽しく健康づくり  
体操をします！

☆昔の遊びで遊ぼう！

将棋・囲碁・竹とんぼ・あやとり

お手玉・けん玉

場所：大歳地域交流センター 2階講堂

参加費：100円

問い合わせ：吉野（TEL 922-5286）

※道具や事前の申し込みは不要です。

どなたでもお気軽にご参加ください。



## 第58回大歳地区分館対抗ソフトボール大会結果報告

5月17日（日）榎野川運動公園にて開催されたソフトボール大会の結果を報告します。

Aブロック 優勝 中矢原A 準優勝 上矢原A

3位 今井下、下湯田

Bブロック 優勝 岩富 準優勝 上湯田下

3位 下矢原、中矢原C

出場された選手のみなさん、お疲れ様でした！！



Aブロック優勝の中矢原A分館

## パソコンでお困りの方、パソコン相談を利用してみませんか？

大歳地域交流センターでは毎月第3金曜日にパソコン相談を実施しています。パソコンのことでお困りの方は是非ご利用下さい。

日時：6月19日（金）10:00～12:00（受付10:00～10:30まで）

※毎月第3金曜日に実施しています。

対象：どなたでも

問い合わせ：大歳地域交流センター（TEL 9 2 2-4 0 3 5）



## 子宮がん検診のお知らせ

がんの早期発見に向け、集団検診を実施します。早期のがんは自覚症状がないことが多いため、定期的な検診受診が必要です。職場等で検診を受ける機会のない方はぜひ受診しましょう。

日時：6月22日（月）（受付：13:20～13:50）

場所：大歳地域交流センター

対象：20歳以上の市民（2年に1回）

負担金：900円

持参物：がん検診等受診ハガキ

※受診には事前予約が必要です。



～ご予約・お問い合わせ～

山口市保健センター TEL 9 2 1-2 6 6 6

## 交流センターの忘れ物・・・ 心当たりありませんか？

現在、大歳地域交流センターには、たくさんの忘れ物があります。6月末までに持ち主が見つからない場合は処分いたしますので、心当たりのある方は大歳地域交流センター事務室にお越しください。

### 【落とし物】

- ・ジャンパー
- ・ヘルメット
- ・手袋
- ・コルセット（腰痛用ベルト）
- ・自転車の鍵
- ・ハンカチ etc...



## 【大歳地区6月の行事予定】

- 1日（月） 燃やせないゴミの日
- 2日（火） おおとし夏まつり実行委員会（19:00～）
- 5日（金） ぶっくん来館日（15:20～16:00）
- 6日（土） おおとしホテル鑑賞の夕べ（19:00～21:30）
- 7日（日） 大歳地区バレーボール大会（8:30～）
- 10日（水） 母子相談（10:00～12:00）
- 12日（金） ブックスタート
- 13日（土） おおとし防災の日イベント（9:00～12:00）
- 15日（月） 金属・小型家電製品の日
- 17日（水） びん・缶の日

- 19日（金） パソコン相談（10:00～12:00）  
受付 10:00～10:30 まで
- 19日（金） ぶっくん来館日（15:20～16:00）
- 20日（土） 大人の居場所（13:30～15:30）
- 22日（月） 子宮がん検診（13:20～13:50）
- 23日（火） 古紙ペットボトル分別収集（大歳①）
- 25日（木） 古紙ペットボトル分別収集（大歳②）
- 26日（金） 子育て支援 “太陽クラブ”（10:00～13:00）
- 26日（金） 花づくり講習会（15:00～）  
※木曜日はプラ容器包装分別収集



## 杉民治と馬踏の石畳

江戸時代は黒川市から三作・朝田にかけての石州街道は一面水をかぶり通行できない事がしばしばありました（「年中吉凶記録」より）。この被害は、大歳地区だけでなく、これより下流の小郡上郷の村人の共通の悩みでもありました。特に、榎野川本流が満水になると、朝田川の関屋橋（現在の第二関屋橋）付近の川が溢れ、土手を高くすると三作方面の被害を大きくし、また一度決壊すると小郡側に甚大な被害をもたらしました。小郡の大庄屋林勇蔵はしばしば本流の浚渫（しゅんせつ）を請願していましたが明治3年（1870）にも大きな被害を出し、時の山口藩の民事局は関屋橋から榎野川土手まで80間（約150メートル）の堤防上に幅4尺の石畳を敷いて、水が越しても決壊しないようにしました。いわゆる越流堤です。この石畳は「馬踏（まぶみ）の石畳」といわれ、現在もその名残の敷石が舗装路面にわずかに残っています。



杉民治（吉田松陰の兄、梅太郎）

この石畳工事を行った民事局の主事（課長）は、杉民治（すぎみんじ、吉田松陰の実兄）でした。

ところで、鳥羽・伏見の戦いに勝利した新政府は、明治元年（1868）1月に王政復古布告、官制を定め、「政体書」を發布して地方行政組織として府・県・藩の3治体制がとられ、諸藩の機構や職制の制定が進められます。山口藩の毛利敬親は、政府の改革方針に沿って11月に「防長藩治職制」を公布し、藩庁に「政事堂」を置き、その分課として議政・施政・会計・民政・軍政など11局を設置します。このとき杉梅太郎（のち民治と改名）は、当島・浜崎宰判（萩の周辺）代官から民政局主事に任命されています。明治2年6月、藩籍奉還により各藩の土地・人民は政府に返還され、藩主は藩知事となり職制も改革されて民政局は民事局と改められます。更に明治4年11月には4県（山口、岩国、豊浦、清末の四つ）が統合して現在の山口県が誕生しますが、その県首脳部の任命辞令の中に「権典事 杉民治」の名がありますから、その間、山口町に在住していたのでしょう。この民治の名は、明治2年10月、君命によって改名したものです。慶応3年（1867）当島・浜崎代官として在任中、百姓町人の民情に関する意見書を提出したり、明治元年には畳石を必要な道路へ敷設する上申を行って道路の改良を進めるなど民政への多大な功績があったからです。朝田の関屋の石畳もこうした経験から生まれたものと思われます。（中村助四郎著『杉民治先生伝』）

（大歳史談会、文責： 山内明一）



現在僅かに残る関屋土手上の馬踏の石畳



榎野川上流域より朝田川下流の関屋土手を望む（左側が榎野川）